

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科	単 位 数	授 業 形 態						
都市地域計画 (Urban and Regional Planning)	選	伊勢 昇	4 年 生 環境都市工学科	1	半期 週 2 時間						
授業概要	都市及び地域の持続可能な発展を支えるための計画手法、計画法規、計画の策定手順の基礎知識を学習する。また、都市施設計画の具体例を取り上げて、その計画事業手法や環境に考慮した計画の考え方を学習する。										
到達目標	都市及び地域の計画手法と計画法規、計画の策定手順について説明できる。(C) 具体的な都市施設についてその事業手法と環境への考慮の方法を説明できる。(C)										
評価方法	中間試験(35%)、定期試験(35%)、レポート(30%)で評価し、評価が60点以上で合格とする。										
教科書等	【教科書】都市計画, 平田ほか, コロナ社. 【参考書】(1)イラストレーション都市計画法, 高木, 学芸出版社. (2)図説都市地域計画, 青山ほか, 丸善. など、適宜プリントも配布.										
内 容					学習・教育目標						
第 1 週	シラバスの説明, 都市計画論				C						
第 2 週	都市計画法および関連法規(1)				C						
第 3 週	都市計画法および関連法規(2)				C						
第 4 週	都市計画の策定手順(1)				C						
第 5 週	都市計画の策定手順(2)				C						
第 6 週	土地利用計画(1)				C						
第 7 週	土地利用計画(2)				C						
第 8 週	都市施設計画(1) 都市交通施設				中間試験 C						
第 9 週	都市施設計画(2) 公園・緑地				C						
第10週	都市施設計画(3) 住宅地・ライフライン				C						
第11週	市街地開発事業(1) 土地区画整理事業				C						
第12週	市街地開発事業(2) 市街地再開発事業				C						
第13週	都市環境計画(1) 中心市街地活性化				C						
第14週	都市環境計画(2) 福祉のまちづくり				C						
第15週	都市環境計画(3) 地域防災計画				期末試験 C						
第16週											
第17週											
第18週											
第19週											
第20週											
第21週											
第22週											
第23週											
第24週											
第25週											
第26週											
第27週											
第28週											
第29週											
第30週											
(特記事項)	JABEEとの関連										
	JABEE	a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c	e	f	g	h
	本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

## 都市地域計画 4年

### 第1週 都市計画論

都市の意義と分類、都市の起源と歴史、日本及び欧米の都市計画の歴史を解説する。

### 第2～3週 都市計画法および関連法規

都市計画の基本法である都市計画法とこれに関連する法規について解説し、日本の都市計画制度の理解を深める。

### 第4～5週 都市計画の策定手順

人口をはじめとする調査に始まり、都市計画区域の設定、市街化区域の設定、土地利用計画の策定、都市施設計画の策定、都市計画事業の立案という一連の都市計画の策定手順を解説する。また、都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの事例について学習する。

### 第6～7週 土地利用計画

土地利用計画の具体的な内容を学習する。地域地区と用途地域の設定、用途地域における建築規制などについて理解を深める。

### 第8～10週 都市施設計画

都市施設計画の具体的な内容を学習する。都市交通施設、公園緑地施設、住宅地及びライフラインなどの都市施設の計画内容について理解を深める。

### 第11～12週 都市計画事業

都市計画事業の具体的な内容を学習する。土地区画整理事業、市街地再開発事業の内容について理解を深める。

### 第13～15週 都市環境計画

環境に考慮した持続可能な社会発展を目指すために、環境面や福祉面、防災面など様々な側面から都市計画を考える必要がある。コンパクトシティ、ユニバーサルデザイン、防災生活圏といった新たな都市計画の考え方について理解を深める。